

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	4	0	基準には満たしていても、利用人数が多くなると狭い。支援員の目が届くようにしている。人が多いときは外での活動も取り入れている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	3	0	少ない日もあるが、支援員同士で話し合って対応している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	2	0	利用者用で車椅子が一つあればもしもの時に役立つのではないかと思います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	2	0	新しく取り入れたことや支援計画は振り返る時間を設けているが、まだ不十分だったり、全体では取り組めていない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	2	0	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	1	0	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	5	0	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1	0	社内外問わず、定期的に研修への参加・企画をしているが、全員で受ける研修の機会などは、まだ不十分。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0	アセスメント、保護者面談やアンケート等を行い、本人や保護者に希望を聞いた上で見直し、作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	2	0	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	0	活動内容は相談・提案し、話し合って決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	2	0	固定化しないようにしていきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	2	0	支援計画を基に、児童一人ひとりに合った課題や活動を提供している。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0		

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1	0	支援開始前に部屋割り、その日の活動等話し合う時間を設けているが、役割分担など細かく決めることが出来ていない時もある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	0	0	支援終了後では時間が足りないため、次の日の朝に振り返りや話し合い、情報共有をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1	0	日報に記録し、後から確認・改善できるようにしている。また、内容についても支援計画に基づいた内容を記録するようにし、モニタリングの際、活用できるようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	0	支援計画更新のタイミングでモニタリングを必ずするようにしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5	4	0	出来ているかは分からない。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	2	0	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	3	0	急な変更やお休み連絡が共有されないこともあり、情報共有を拒否されることもある。もっと連携したいと思うが、学校によって対応が違う。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	3	3	今現在、医療ケアが必要な児童の受け入れはないが、服薬の関係等は保護者を通して確認している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	9	0	保護者を通し、以前利用していた事業所等での本人の様子や情報を紙ベースで情報共有してもらったり、相談支援事業所から情報を共有してもらうことはある。しかし、直接のやり取りまではしていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	2	0	相談支援事業所を通じて、障害福祉サービスへ情報を伝えてもらっている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	4	0	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	6	積極的に交流は出来ていないが、公園等で同じ遊具で遊ぶことはある。今後は、地域交流について機会を増やしたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7	1	1	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	0	連絡帳やメールでのやり取り、電話や口頭で直接話をして共有している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	2	2	「家でやってほしいこと」と「共通した対応」ができるよう依頼・情報共有している。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1	0	契約時に説明を行い、支援内容については面談時に詳しく話したり、連絡ノートや送迎時に口頭で伝えるようにしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	0	面談時や日々の連絡ノートでのやりとり、送迎時等で必要な助言を行っている。また、他の福祉サービスについても保護者から要望があれば参考資料等を渡しながらか説明もしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	5	今年度から、「就労ツアー」を企画し保護者が参加しやすく、保護者同士が関わる機会を作ったが、関わるまでには至らなかった。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	0	ピレージキッズ通信、インスタグラム、メール等で情報発信、連絡をしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	8	1	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	絵カードを用いることもある
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	4	1	イベントによっては地域交流も意識が盛り込まれてきているが、まだ機会は少ない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	0	0	地震の避難案内については変更したため、周知した。他にもマニュアルはあるが、職員や保護者に周知・徹底はされていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	0	月1で火災・地震と内容を決め実施している。頻繁にはではないが、定期的に不審者訓練も実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	1	0	毎月、虐待チェックリストの実施を行い、チェックリストから出てきた意見から話し合いを実施している。また、会社全体でも虐待防止に関する研修会を行った。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	0	0	契約時に説明を行っているが、周知・徹底がまだ不十分と感じている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	4	0	保護者を通して共有している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	6	0	事例集ではないが、ヒヤリハットや事故報告は共有している。日常の中で、気づいたときにすぐに記入できるように検温表の用紙にヒヤリハットを書ける枠を作り、いつでも見れる状態になっている。しかし、活用出来ていない部分もある。